

# 第二回日本・EC研究者大会

1977年11月

によって与えられている。

また、国際協定に関する共同体諸機関（この場合、理事会と委員会）の権限関係について、共同体裁判所は、運輸問題に関する協定については、提案権と交渉権は委員会に、締結権は理事会に属するとの判断を示した。

## 7. 結 論

現在の共同体が国家でもなければ、さりとて通常の国際組織でもないきわめてユニークな組織体であるがために、共同体の法人格あるいは能力について種々の議論がなされてきた。AETR判決も共同体の対外的機能に関する考え方の一つを示したものだといえる。今日のECの活動から判断すれば、その法的性格からいって、能力も制限的に捉えるべきでなく、したがって加盟国の意志に左右されやすい国際組織としてでなく、むしろ国家により近い組織体としてその能力も捉えるべきである。

## 〔後 記〕

駐日EC委員会代表部の援助により、第二回日本・EC研究者大会の報告要旨を出版することができました。駐日EC委員会代表部に研究者大会に代り感謝いたします。また、報告要旨の執筆を心よくお引受けくださいました諸先生方にも御協力を感謝いたします。

編集責任

慶応義塾大学EC研究会

## 第二回 日本・EC研究者大会プログラム

期 日 昭和52年11月12日(土)、13日(日)  
場 所 慶応義塾大学三田校舎 新研究室ABC会議室  
主 催 慶応義塾大学EC研究会  
関西EC研究会  
同志社大学EC研究会  
国際統合研究会  
後 援 駐日EC委員会代表部  
日本国際政治学会  
国際経済学会

第一日 11月12日(土)

個別報告 I (10:00-12:00) 司会 山手治之氏(立命館大学)  
「欧州共同体商事法概説」 岡本善八氏(同志社大学)  
「EC加盟に伴うイギリス法上の問題」  
平 良氏(慶応義塾大学)

昼食・休憩 (12:00-13:30)

特別講演 (13:30-15:00)

「法律と現実を基礎にヨーロッパを建設する」

ウォルフガング・エルンスト氏

(駐日EC委員会代表部代表)

個別報告 II (15:00-17:00) 司会 内田勝敏氏(同志社大学)

「経済同盟の現状と問題点—共通農業政策を中心として」

清水貞俊氏(立命館大学)

「通貨同盟の現状と問題点」

滝沢健三氏(東京銀行)

レセプション (18:00-20:00)

駐日EC委員会代表部主催

第二日 11月13日(日)

個別報告 Ⅲ (10:00-12:00) 司会 中原喜一郎(東海大学)

「欧州共同体加盟問題をめぐる英国の世論」

田中俊郎氏(慶応義塾大学)

「EC委員会と統合の展開」

南 義清氏(一橋大学)

昼食・休憩 (12:00-13:00)

総会 (13:00-14:00)

共通論題 「ECの対外関係」

(14:00-17:00) 司会 細谷千博氏(一橋大学)

「EC対外関係の基本構造」 大隈 宏氏(成城大学)

「ECの対外経済関係の諸側面」 野村昭夫氏(桃山学院大学)

「ECの国際法主体性」 岡村 堯氏(西南学院大学)

閉会の辞

片山謙二氏(福山大学)

昭和54年6月15日発行

慶應義塾大学EC研究会

〒108 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学法学部平良研究室